

★TSUKU-BIKE(つくばサイクルプロジェクト)とは★

- ・筑波大学が抱える**自転車交通事情の改善**を見据えた**コミュニティーサイクルシステム(CCS)の導入**を検証するために2010年11月に発足
- ・コミュニティーサイクルの**愛称はTSUKU-BIKE**
- ・筑波大学が学生の自発的な活動をサポートする、**つくばアクションプロジェクト(T-ACT)**の枠組みで活動を行う
- ・平成24年度筑波大学社会貢献プロジェクト(登録課題)採択
- ・つくば3Eカフェ(2011年2月)で**ケーススタディー**として紹介
- ・学内広報誌STUDENTS(2010年11月号)で特集
- ・筑波大学新聞2012年2月号(298号)で紹介

<TSUKU-BIKE(TB)のロゴについて>

多くの人にこのプロジェクトに親しみを持ってもらうためにロゴを作成した。筑波大学カラーの紫を基調とし、頭文字のTとBの文字を用いて、自転車を表現している。Tの下についている車輪には、コミュニティーサイクルの「コミュニティー = 輪」という意味も含まれる。



★TSUKU-BIKE 導入で考えられる効果★

- ①廃棄自転車の活用と削減**
 - ・筑波大学で廃棄されている1200台の自転車をTSUKU-BIKEとして有効活用
 - ・TBの普及によって自転車所有者数が減少すれば、廃棄自転車数の削減にも寄与できる
- ②ペDESTリアンデッキ交通量の削減**
 - ・ポート(自転車の貸出及び返却の場所)をループ沿いに設けることで、TB利用者がペデではなく**ループ道路を走るような環境を整える**⇒ペデにおける自転車交通量を削減する
- ③自転車の運転、駐輪マナーの改善**
 - ・会員に自転車運転マナー講習を義務付ける
 - ・電球切れなどの整備不良車を無くす事により、無灯火運転を低減させる
 - ・ポートが決まっているため、否応なしに会員は駐輪マナー厳守となる
- ④モビリティの向上**
 - ・車や公共交通で通勤通学している教職員や学生に、快適な学内移動手段を提供できる
 - ・大学の来訪者のための移動手段としても活用できる

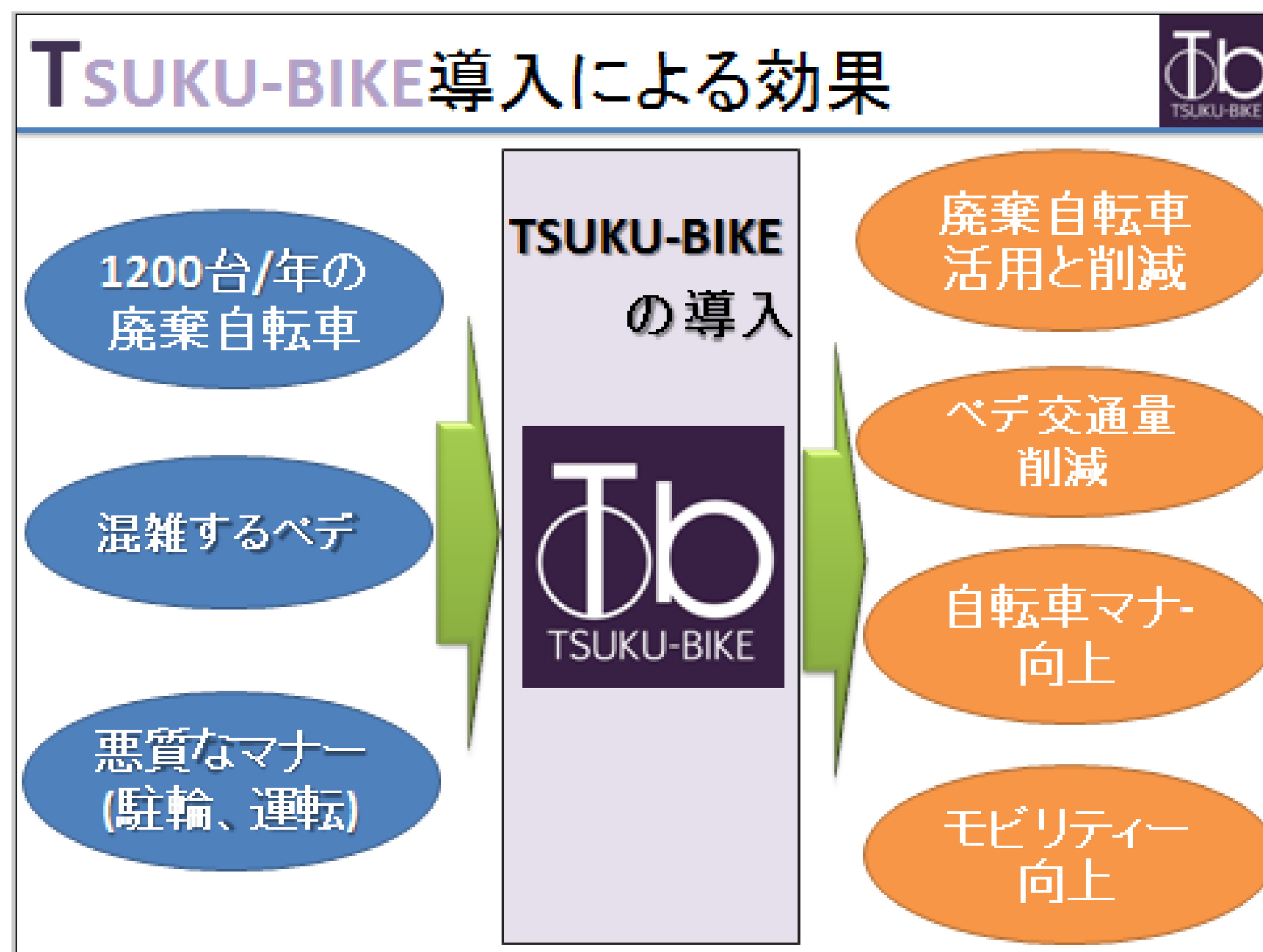


混雑するペDESTリアンデッキ



歩行者道 自転車道

キャンパスリニューアル計画で整備されたループ道路(歩行者、自転車の分離)



TSUKU-BIKEポート配置案

★今後の展開★

- ①リユース自転車を用いた学内レンタサイクルの模索;**
 - ・学内レンタサイクル事業でリユース自転車の活用を模索。留学生などに需要が見込める⇒先行事例：九州大学などで学内においてレンタサイクルが実施
- ②コミュニティーサイクル実証実験の模索;**
 - ・キャンパスリニューアル計画などと連動したコミュニティーサイクルシステムの構築